

藍に関する研究開発プラットフォーム 平成 29 年度第 1 回プロデューサーチーム会議 の開催について

拝啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本学の教育・研究活動に対し、格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本学の位置する徳島県は日本有数の『藍』の産地であり、特に藍染めに代表されるように染料としての利活用については文化的・技術的に充実しています。しかし、染料以外での用途については十分に確立されておらず、漢方薬や生薬として利活用された例はありますが、その効用については未だ伝承の域を出ないため、科学的アプローチによる分析が必要となっています。

このような課題に対応するため、本学が事務局となり産学官連携により藍の研究を行う「藍に関する研究開発プラットフォーム」を組織し、その展望を議論するプロデューサーチーム会議を下記のとおり開催します。

つきましては、ご多忙の折かとは存じますが、取材方ご配慮くださいますようお願い申し上げます。

記

● 日 時 平成 29 年 8 月 22 日（火） 14：00～

● 場 所 四国大学 全学共通・地域教育センター B108 講義室

以上

【問合せ先】〒771-1192 徳島市応神町古川字戎子野 123-1
教育・学生支援部学部運営支援課（担当：高木）
TEL:088-665-9909



藍に関する研究開発プラットフォーム

【参画機関】

株式会社ボン・アーム、純藍株式会社、スタンシステム株式会社、
徳島県立農林水産総合技術支援センター、一般社団法人ジャパンプルー上板、
徳島大学、四国大学

目的

藍の多様な利活用を促進する事を目的に、藍の成分分析などの研究開発を通じて、輸出も視野に入れた藍の商品化・事業化を目指す。

また、産学官及び異分野の組織・人材の交流を通じて、藍におけるイノベーション創出を目指す。

事業内容

機能性食品の開発

藍の抗酸化作用（血管や細胞を傷つけ、体の内側を酸化させる活性酸素の働きを抑制する力）を活用して新しい機能性食品を開発する。

KEYWORD

- ☑ 抗酸化作用
- ☑ 中性脂肪の低下
- ☑ 気孔蒸散する水分の分析



ヘルスケア用品

藍に含まれるポリフェノールの効能の一つである抗菌作用などに着目し、自然由来のヘルスケア用品を開発する。

KEYWORD

- ☑ 抗菌作用
- ☑ 抗炎症作用
- ☑ 医療目的とした基礎研究

藍植物の成分分析



※写真は藍の花

藍の品種改良

花目が付く時期が出来るだけ遅く、かつ立成が強く刈り取りがしやすく、よりインディゴが多く含まれ、収量を増やせる品種の改良を目指す。

KEYWORD

- ☑ 約11種類あるタデ科の藍葉
- ☑ 品種改良



新しい染料・顔料

藍染めに代表される藍染料について、成分分析を通じて、新たな染料・顔料の利活用を検討する。

KEYWORD

- ☑ 発酵過程における成分変化
- ☑ 世界100種以上ある藍の比較

プロデューサー：三谷 芳広（株式会社ボン・アーム代表取締役社長）

事務局：四国大学 教育・学生支援部 学部運営支援課